

2021年

5月

第231号

# エコにこニュース

2022年4月で

エコにこセンターは20歳になります



「エコにこセンター」は  
多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンターのニックネームです



緊急事態宣言発出にともない、エコにこセンターは  
5月11日(火)まで臨時休館しています。  
5月12日以降の対応についてはホームページ等  
でお知らせします。

## 2021年度「食器回収」について

エコにこセンターでは、家庭で不用になった陶磁器製食器（陶器または磁器でほこりや食べ物が付着していない食器。ただし、土鍋のように直火で使用するものや材質が異なるボンチャイナ等、一部対象外あり）を回収しています。

今年度は、ゴールデンウィーク期間中からスタートできるように準備してきましたが、臨時休館になってしまい回収開始は再開後になります。回収開始日、回収時間等は決まり次第ホームページでお知らせします。

なお、回収の対象は、八王子市・町田市・多摩市にお住まいの方で、持参できるのは家庭で不用になった陶磁器製の食器のみであること。お持ちになった食器はすべてその場で検品し、対象外のものは返却すること。食器は包まず、または簡易包装でお持ちいただくと検品時間が短縮できることなどは昨年度までと変更はありません。

お知らせを  で配信 **エコにこメール部** にぜひ登録してください!!

エコにこセンターから、月に2~3回程度メールが届きます。ご希望の方は必要事項をメールで送って登録してください。

申込先メールアドレス recycle@tama-seisokojo.or.jp

- ・件名→メール登録 ※必ず件名をつけてください。
- ・本文→名前(ニックネーム可)、住んでいる自治体名(八王子市在住など)

送信メールとは別のアドレスで受信したい場合は受信希望のアドレス  
メール受信後に登録確認メールを送信。1週間程度過ぎても返信が届かない場合はご連絡下さい。

## ◆今年度の陶磁器製食器の回収についてご協力のお願い◆

1 ページのとおり、今年度の回収開始日は未定ですが、下記の「なぜ？」をお読みいただき、ご協力をお願いいたします。

### 食器回収の「なぜ？」にお答えします

#### ◆なぜ？ その1

どうして割れた食器でもいいの？



答え

割れていても、欠けていても構わないのは、回収した食器を粉砕するからです。ただし、粉々になっている破片は、もともとの姿や用途を確認できないため、不燃ごみに出してください。破片の大きさがおおよそ2センチ以上の場合には、回収対象にしています。ケガをしないようにお持ちください。

#### ◆なぜ？ その2

どうして汚れているとダメなの？



答え

エコにこセンターで回収した陶磁器製食器は岐阜県土岐市の食器粉砕専用のプラントを設置している工場に食器原料として運び、砂状にします。

また、粉砕する時には、細かい網目(ふるい)を通すため、汚れ(ほこりを含む)は、この網目をふさいでしまう場合があります、資源化の効率が悪くなります。

ご自宅で洗って乾かしてお持ちください。長く食器棚の中にしまっていたり、箱に入れたままの新品の食器も必ず確認してからお持ちください。「その場で食事ができる」を合言葉に回収しています。汚れている食器はお持ち帰りいただいています。

なお、センターの水道を使用して洗浄することはできません。汚れがとれないものや対象外の食器は各市のルールに従って処分してください。

#### ◆なぜ？ その3

どうして陶器なのに食器だけが対象なの？

答え

エコにこセンターで回収した陶磁器製食器は原則として再び食器の原料になります。というより、もっともグレードの高い原料づくりを目指しています。食器は直接、人の口や食べ物が触れるため、衛生面で心配のない作り方をしています。

グレードの高い原料であれば、たとえ食器にならなくても用途はいろいろありますが、逆に、花瓶や灰皿、衛生陶器(便器など)などが入ってしまうと、食器の原料にすることはできません。

食器リサイクルは全国でも例の少ない事業です。私たちの地域が模範になるようにご協力をお願いいたします。



## ◆なぜ? その4

どうして三市(八王子市・町田市・多摩市)の人しか持ってきちゃいけないの?

### 答え

エコにこセンターは、三市の施設です。ごみや資源の回収は自分が住んでいる自治体のルールに沿って、その自治体の回収に出します。隣の市の分別方法が便利だからといって、自分が住んでいない市にごみや資源を出すことはできません。

## ◆なぜ? その5

リサイクルするだけでなく、今年度は回収した食器のリユースはするの?

### 答え

エコにこセンターの食器回収はリサイクルをメインにした事業ですが、回収食器のリユースを希望する方が多いことから、今年度は実施する予定です。対象は新品のみで価格はサイズ等にかかわらず一律 20 円です。

なお、リユースせず、持ち込んだ食器すべて(新品も含めて)をリサイクルしてほしいという方もいらっしゃいます。回収を担当するスタッフが新品の食器を持参された場合「リユースしてもいいですか」と尋ねるようにしていますが、全量リサイクルを希望する場合にはぜひ一言、声かけをお願いします。



## ◆なぜ? その6

どうして毎回アンケートを書くの?

### 答え

エコにこセンターは、八王子市・町田市・多摩市で構成する多摩ニュータウン環境組合の施設です。そこで、どの市の方にどのくらい利用していただいているのかを知りたくて回収をはじめたときからほぼ同じ項目で調査しています。ご協力をよろしくお願いいたします。



## ◆なぜ? その7

回収した食器で作ったお皿やカップはどこで買えるの?

### 答え

回収した食器を原料の一部に使用した食器を「Re 食器」と呼んでいます。岐阜県東濃地方の美濃焼生産者が中心となって家庭で気軽に使用できるデザインの食器を作っています。

エコにこセンターでは、これら「Re 食器」の普及にも積極的に取り組んでいて、館内にコーナーをつくり、展示販売を行っています。

裏にエコマークがついていたり、回収食器の含有率を示す表示や「Re」のマークがあるものも多く、食事やお茶の時間の話題にさせていただけるととてもうれしいです。

また、「Re 陶土」を使った作陶体験として、こうさくの時間“陶芸”、親子陶芸体験教室の他、「おとなのための工作教室」では、講師の指導を受けながら豆皿などを作陶するプログラムもあります。「Re 陶土」は 5 kg 単位で販売していますが、購入希望の場合は、量と来館日をお知らせください。



# 清掃工場だより

「柳緑花紅（やなぎはみどり はなはくれない）」という言葉をご存じでしょうか。

緑萌え、花が咲きほころぶ初夏を思わせる爽やかな語感ですが、禅語の一つで「柳は緑色、花は紅色と、事物には各々個性、特徴があり千差万別ながら、全てこの世に無くてはならない存在であり、尊重しあうことが大事」という意味だそうです。

私が初めてこの言葉を目にしたのは意外ですが「姿三四郎」という小説。明治の初め、紘道館（モデルは講道館）道場の四天王とうたわれた姿三四郎青年が、柔術諸流の強豪達との勝負を重ね柔道家として成長する様を、強者ゆえの苦悩と共に描いた青春小説です。

場面は紘道館の代表として負けられない大事な試合の当日。相手は恋人の父親で警視庁の師範を務める柔術家。実力に勝り形勢は有利ながら、自分が勝てば相手は師範の役を追われ、娘である恋人の運命をも変えてしまうことを思い悩み、直前まで試合からの逃避や八百長にまで思いを巡らす三四郎が、たまたま訪ねてきた（訳ありの）男が口にした「柳緑花紅」の言葉で懊悩が心から拭われ、紘道館もなく、父娘の運命もなく、ただ“闘うこと”の一点で意識が充たされ、一心に試合会場への道を急ぐことに…。

柳は緑色、花は紅色という当たり前のことを「あるべき姿」と受け止め“柔道家の己がなすべきことは闘うこと”という単純にして肝心なことに思い至ったのだと思います。

禅語の教えからは外れるかもしれませんが、何か悩み事や迷いが生じた時も、三四郎のように柳緑花紅～当り前のこと、あるべき姿～を思うことで、案外道筋や解決の糸口が見つかるような気がします。

（多摩ニュータウン環境組合 事務局長）

蛇足ですが1960年代に一世を風靡したジャズ&コミックバンド、クレイジーキャッツのヒット曲「学生節」でも柳緑花紅が歌われています。元気が出る良い曲です。

\*\*\*\*\* 多摩ニュータウン環境組合多摩清掃工場

## 「ねんちゃんコラム」 ～名前の由来～

私の名前は「ねんちゃん」。

今は、エコにこセンター広報担当特別スタッフですが、もともとは食器リサイクル事業のみを担当する特別スタッフでした。ということで、食器の原料の一つである「ねんど」から「ねんちゃん」という名前をつけてもらいました。

私が食器担当だったころは、タマちゃんがセンター全体の広報を担当していましたが、多摩ニュータウン環境組合の25周年記念にあわせて清掃工場も含めた広報を担当することになり、私がエコにこセンター全体の広報を担当することになりました。

これからもよろしくお願いします。(左:タマちゃん 右:ねんちゃん)



★再開後の開館時間は当面 10時～15時の予定ですが、決定しましたら再開日とあわせてお知らせします。

## 編集発行 多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター

ニックネーム エコにこセンター (10時～17時<当面15時閉館> 月曜休館)

エコにこセンターは、八王子市・町田市・多摩市で構成する多摩ニュータウン環境組合の施設です。

センターの運営業務は特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦が受託しています。

TEL 042-374-6210 FAX 042-374-6214 206-0035 多摩市唐木田 2-1-1

メール recycle@tama-seisokojo.or.jp HP <https://www.tama-seisokojo.or.jp>

ツイッター「タマちゃん@エコにこセンター」 <https://twitter.com/econico1>

